

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)10月5日号 No.1838

目次

■ コロナ禍のカザフスタンとアゼルバイジャン	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 10
■ 統計速報	22
2020年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／22	
2020年1～8月の日ロ貿易／23	
■ トピックス	26
日・ウズベキスタン租税条約発効手続き完了／26	
アゼルバイジャンとアルメニアが軍事衝突／26	
三菱自動車、ロシアのカー・オブ・ザ・イヤー受賞／26	
菅総理、プーチン大統領と初の電話会談／26	
西側諸国がベラルーシに制裁／27	
NIS諸国における新型コロナウイルス関連のニュース／27	

コロナ禍のカザフスタンとアゼルバイジャン

はじめに

前号でお伝えした通り、9月14日、16日、18日の3日間にわたり、ロシアNIS貿易会ではロシア・カザフスタン・アゼルバイジャンの経済・エネルギー部門の専門家による連続ウェビナー「ロシア・カスピ海産油国石油産業へのコロナ禍の影響」を開催した。前号ではその中からロシアの専門家による報告の要旨をお伝えしたが、今号ではカザフスタンおよびアゼルバイジャンの専門家による報告をご紹介します。なお、本講義は8月末に収録されたものであり、質疑応答はウェビナー当日にライブで行われたものである。

カザフスタンの石油採掘における「ブラックスワン」

チェルビンスキー・PETROLEUM Journal LTD編集長

OPECプラス交渉決裂による油価下落 GDPや国家予算が極めて大きく石油ガス収入に依存しているカザフスタンにとって、2020年は独立以来最も衝撃的な年になった。著名な学者・金融実業家 ナシム・タレブは、『不確実性とリスクの本質』という著書の中で「ブラックスワン」理論を提唱。「ブラックスワン＝黒い白鳥」とは、突然生じる歴史を変えるような重大な事象を意味する。その事象は滅多に起こることはないが予測できず、起きてしまうとその後の展開を予想することもできない。2020年春、カザフスタンには一度に何羽ものブラックスワンが飛来した。